

ふりがな 氏 名	おおくら たかし 大倉 高志	職 名	准教授
取得学位	博士（社会福祉学）・同志社大学		
学 歴	同志社大学大学院 社会学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程 修了		
受賞歴等	2009年度 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 専門職学位課程 課題研究論文 優秀賞		
所属学会	日本社会福祉学会、日本精神保健福祉士学会、日本自殺予防学会、同志社大学社会福祉学会		

教 育 活 動

(主な担当科目)

- 2018年：精神障害リハビリテーション学Ⅰ、精神保健福祉援助技術各論、精神保健福祉援助実習指導
 2017年：障害者福祉論Ⅰ、地域福祉論Ⅰ、精神保健福祉援助実習指導
 2016年：障害者福祉論Ⅰ、精神保健福祉援助実習指導、卒業研究
 2015年：障害者福祉論Ⅰ、精神保健福祉援助実習指導、精神保健福祉特殊講義

研 究 活 動

(著書等)

- ・「自殺をケアするということ—『弱さ』へのまなざしからみえるもの—」ミネルヴァ書房 共著（編者：木原活信・引土絵未）2015年6月
- ・「新しい福祉サービスの展開と人材育成」法律文化社 共著（編者：埋橋孝文，同志社大学社会福祉教育・研究支援センター）2010年3月

(論文等)

- ・大倉高志・市瀬晶子・白井（田邊）蘭・引土絵未「親を自殺で亡くした子どもが望む情報提供と支援—地域における支援課題への挑戦—」『東海学院大学研究年報』2, 33-57. 2017年3月
- ・大倉高志・白井（田邊）蘭・引土絵未・市瀬晶子「子どもを自殺で亡くした親が望む情報提供と支援—自死遺族を対象とした質的調査の結果から—」『東海学院大学研究年報』2, 11-32. 2017年3月
- ・大倉高志「親が自殺で亡くなった事実を子どもにどう伝えるか？—国内外の文献検討から見えてきたこと—」『東海学院大学紀要』10, 79-95. 2016年12月
- ・山村りつ・市瀬晶子・引土絵未・倉西宏・李善恵・大倉高志・尾角光美・高仙喜・木原活信「大学生の『悩みとその対処方法』に関するアンケート調査とその結果—自殺予防のための方策を探る—」『人間福祉学研究』8(1), 103-119. 2015年12月
- ・内藤雅子・南本宜子・島田浩・荻津守・松野勝民・藤川泰永・渡邊由美・井上美夕起・大倉高志「更生保護施設入所者への医療支援における現状と課題」『済生会医学・福祉共同研究』22-30. 2015年9月
- ・市瀬晶子・引土絵未・李善恵・大倉高志・山村りつ・全海元・高仙喜・倉西宏・尾角光美・木原活信「大学生の自殺予防教育プログラムに向けた『悩みとその対処方法』に関する調査—相談することへの抵抗感に着目して—」『人間福祉学



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

研究』7(1), 115-127. 2014年12月

- ・大倉高志・引土絵未・市瀬晶子・田邊蘭・中山健夫・木原活信「配偶者を亡くした自死遺族が望む情報提供と支援—地域における支援実践への寄与—」『評論・社会科学』104, 51-87. 2013年3月
- ・大倉高志「自殺発生直後の遺族支援に関する文献検討—警察, 死体検案医, 解剖担当者を中心に—」『評論・社会科学』99, 97-135. 2012年3月
- ・大倉高志・市瀬晶子・田邊蘭・木原活信・中山健夫「自殺者遺族が望む『情報提供のあり方』の探究—続柄を考慮した語りの比較分析—」『自殺予防と危機介入』31(1), 74-83. 2011年3月
- ・引土絵未・市瀬晶子・山村りつ・田邊蘭・大倉高志・金子絵里乃・木原活信「自殺予防における援助実践に関する実態調査からの考察—ソーシャルワークの視点としての“つながり”に着目して—」『自殺予防と危機介入』30(1), 76-83. 2010年3月

(研究発表等)

- ・大倉高志「親が自殺で亡くなった事実の子どもへの伝え方」日本社会福祉学会 中部ブロック部会 2017年度春の研究例会、愛知、名古屋市総合社会福祉会館 2017年4月
- ・大倉高志・木原活信「更生保護施設入所者への医療支援の現状と課題—済生会医学・福祉共同研究全国調査の結果から—」日本社会福祉学会第64回秋季大会、京都、佛教大学 2016年9月
- ・内藤雅子・南本宜子・島田浩・荻津守・松野勝民・藤川泰永・渡邊由美・井上美夕起・大倉高志「更生保護施設入所者への医療支援における現状と課題」第68回済生会学会、大阪、グランキューブ大阪・リーガロイヤルホテル 2016年2月
- ・森口弘美・李善恵・市瀬晶子・大倉高志・小山聡子・加納光子・種橋征子・藤本芳明・松本理沙・木原活信「社会福祉領域における『エピソード記述』の援用可能性について(その2)—研究方法としての可能性—」日本社会福祉学会第62回秋季大会、東京、早稲田大学 2014年11月
- ・藤本芳明・李善恵・市瀬晶子・大倉高志・小山聡子・加納光子・木原活信・種橋征子・松本理沙・森口弘美「社会福祉領域における『エピソード記述』の援用可能性について(その1)—先行研究の検討から—」日本社会福祉学会第62回秋季大会、東京、早稲田大学 2014年11月
- ・福間仁志・藤田邦雄・林史明・東希美・金子和夫・片岡美佳・菊池彰倫・熊取谷晶・マルコンオットー・西川芳子・坂江真由美・山口健司・吉村理世・大倉高志「京都府における自殺予防相談の取組について—京都府自殺ストップセンターの活動—」第38回日本自殺予防学会総会、福岡、北九州国際会議場 2014年9月
- ・大倉高志・白井(田邊)蘭・引土絵未・木原活信「自殺で子を亡くした親が望む情報提供と支援—自死遺族を対象とした質的調査の結果から—」日本社会福祉学会第61回秋季大会、札幌、北星学園大学 2013年9月
- ・大倉高志・市瀬晶子・白井(田邊)蘭・引土絵未・木原活信「自殺で親を亡くした子が望む情報提供のあり方—自死遺族を対象とした質的調査の結果から—」第37回日本自殺予防学会総会、秋田、秋田県総合保健センター 2013年9月
- ・大倉高志・引土絵未・中山健夫「自殺で家族を亡くした遺族への情報提供のあり方の研究」第19回ヘルスリサーチフォーラム(主催:公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団)、東京、千代田放送会館 2012年11月
- ・大倉高志・引土絵未・市瀬晶子・田邊蘭・木原活信「配偶者を亡くした自死遺族が望む情報提供のあり方—地域の関係者による支援体制のさらなる発展に向けて—」日本社会福祉学会第60回大会秋季大会、兵庫、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス 2012年10月



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・大倉高志・引土絵未・市瀬晶子・田邊蘭・木原活信「自殺で配偶者を亡くした遺族が望む情報提供と支援—グループ・インタビュー調査の帰納的分析の結果から—」第36回日本自殺予防学会総会、東京、ベルサール新宿グランドホール 2012年9月
- ・市瀬晶子・引土絵未・全海元・高仙喜・倉西宏・李善恵・大倉高志・尾角光美・田邊蘭・山村りつ・木原活信「大学生の自殺予防プログラム開発に向けた予備的調査—大学生の悩みと対処方法について—」第35回日本自殺予防学会総会、沖縄、沖縄コンベンションセンター 2011年12月
- ・Takashi Okura, Akiko Ichinose, Ran Tanabe, Katsunobu Kihara and Takeo Nakayama. Bereaved family members' expressed hopes for information after suicide in Japan: focus group interviews with survivors. The 26th World Congress of International Association for Suicide Prevention. Jiuhua Resort & Convention Center, Beijing, China. 2011 Sep. 13-17. Oral Presentation
- ・Takashi Okura, Akiko Ichinose, Ran Tanabe, Katsunobu Kihara and Takeo Nakayama. Bereaved Family Members' Expressed Hopes for Information after Suicide in Japan: Focus Group Interviews with Survivors. Chinese Mental Health Journal, 25(9) (Supplement) 2011年9月
- ・大倉高志・市瀬晶子・田邊蘭・木原活信・中山健夫「自殺者遺族が望む『情報提供のあり方』の探究—続柄を考慮した語りの比較分析—」第34回日本自殺予防学会総会、東京、大妻女子大学 2010年9月
- ・Akiko Ichinose, Emi Hikitsuchi, Ritsu Yamamura, Ran Tanabe, Takashi Okura, Erino Kaneko and Katsunobu Kihara (Project team of Suicide Prevention in GP at Doshisha University). Role as Mediator of Practitioners in Suicide Prevention. The 1st Sangji and Doshisha University Seminar on Social Welfare, Sangji University, Korea. 2010 Mar. 5. Oral Presentation.

社会活動

- ・2017年4月～2018年4月 日本社会福祉学会 中部ブロック部会 院生・若手のための勉強会企画委員会 委員
- ・2014年11月～現在に至る NPO法人働く者のメンタルヘルス相談室 調査研究 研究協力者
- ・2014年8月 岐阜県精神保健福祉センター主催「平成26年度岐阜県自死遺族支援関係者研修会」にて講演。(自死遺族が望む情報提供と支援に関する研究結果に基づき、自殺で家族を亡くした遺族が、自殺発生直後から、いつ、誰から、どのような情報を、どのような方法で提供されることを望んでいるかについて、警察、葬儀関係者、教育関係者、医療関係者、県・市保健福祉担当者、市町村戸籍等窓口担当者、岐阜県内の相談支援担当者などの関係者向けの研修会で講演した。)
- ・2014年7月～2016年3月 社会福祉教育・研究における「エピソード記述」の展開プロジェクト(同志社大学社会福祉教育・研究支援センター 第3期センター教育・研究プロジェクト) 嘱託研究員
- ・2014年5月～2014年9月 京都府が2009年10月に京都府精神保健福祉総合センター内に開設した「京都府自殺ストップセンター」における実践報告資料(『京都府における自殺予防相談の取組について—京都府自殺ストップセンターの活動—』(第38回日本自殺予防学会において発表))の作成に共同発表者として参加。
- ・2013年11月～2016年9月 社会福祉法人 恩賜財団済生会 医学・福祉共同研究 全国調査『更生保護



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

施設入所者への医療支援における現状と課題』 共同研究者

- 2010年4月～2013年3月 京都市自殺総合対策連絡協議会 ワーキンググループ 委員
- 2008年12月～現在に至る 同志社大学自殺とケア研究会（前・同志社大学自殺予防研究プロジェクト）会員



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY